

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月26日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6210 URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田畑 禎章
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 酒井 雅人 (TEL) (078) 942-2345
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	24,074	43.8	1,341	—	1,475	—	907	—
2021年3月期第3四半期	16,736	△29.1	△440	—	△363	—	△395	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,196百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △413百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	44.16	—
2021年3月期第3四半期	△19.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	29,941	19,104	62.8
2021年3月期	28,573	18,158	62.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 18,814百万円 2021年3月期 17,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年3月期	—	7.50	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	17.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,150	25.3	1,550	—	1,730	—	1,020	—	49.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	20,703,000株	2021年3月期	20,703,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	189,030株	2021年3月期	122,238株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	20,540,758株	2021年3月期3Q	20,584,548株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 配当予想の修正	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症が続く中、ワクチン接種の普及が進むにつれ、経済活動の段階的な再開により消費活動の正常化が進みましたが、新たな変異株の感染症が拡大するなど依然として予断を許さない状況で推移しました。また、製造業におきましては、半導体部品を始めとする一部の製造部品の供給不足による影響で生産活動の停滞や原材料価格、輸送費の高騰などが顕在化してきており、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社の事業に関連する業界におきましては、新型コロナウイルス感染症や需要の波の影響によるサプライチェーンの停滞により、部品調達が不安定ではありますが、国内の設備投資は回復基調で推移しました。また、海外では中国をはじめ、アジア、米国、欧州で需要は回復しました。

このような市場環境のもと、当社グループは2024年3月期を最終年度とする第3期中期経営計画に基づいた事業活動を推進し、中長期的な視点からの持続的な成長と安定した収益確保に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は27,364百万円(前年同四半期比39.8%増)、売上高は24,074百万円(同43.8%増)となりました。このうち、国内売上高は5,513百万円(同12.2%増)、海外売上高は18,560百万円(同57.0%増)となり、海外比率は77.1%となりました。

利益につきましては、長期化する部材供給不足に伴う生産制約や海上運賃値上がりの物流コスト増の影響を受けましたが、売上高の増加により営業利益は1,341百万円(前年同四半期は営業損失440百万円)、経常利益は1,475百万円(前年同四半期は経常損失363百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は907百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失395百万円)となりました。

製品別の売上の状況は、以下の通りです。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、国内は、自動車関連の需要が減少したものの雑貨や容器類などの生活用品や医療機器関連が増加しました。また、海外におきましては、中国でのIT電子機器や医療機器関連の小型機が増加しました。また、アジアでの自動車関連や欧州における生活用品関連の中大型機が増加しました。その結果、売上高は18,542百万円(前年同四半期比41.1%増)となりました。

[ダイカストマシン]

ダイカストマシンにつきましては、国内は自動車関連の需要が回復し増加しました。海外におきましては、中国やアジアで自動車関連が増加しました。その結果、売上高は5,531百万円(前年同四半期比54.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,991百万円増加しました。これは、主に現金及び預金の減少389百万円があったものの、棚卸資産の増加1,574百万円及び売上債権の増加475百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて623百万円減少しました。これは、主に有形固定資産の減少341百万円及び繰延税金資産の減少216百万円があったことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて692百万円増加しました。これは、主にその他流動負債の減少227百万円、未払費用の減少163百万円及び1年内返済予定の長期借入金の減少100百万円があったものの、仕入債務の増加648百万円及び短期借入金の増加500百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて270百万円減少しました。これは、主に長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替による減少160百万円及び退職給付に係る負債の減少119百万円があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて945百万円増加しました。これは、主に配当を行ったことによる利益剰余金の減少256百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加907百万円及び為替換算調整勘定の増加241百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回予想から上方修正いたします。売上高は海外経済の回復を背景に成形機の需要が堅調に推移したことから、前回予想を上回る見込みとなりました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、長期化する部材供給不足に伴う生産制約や海上運賃値上がりの物流コスト増の影響があるものの、売上高の増加により前回予想を上回る見込みです。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	1,200	1,250	850	41.36
今回発表予想 (B)	31,150	1,550	1,730	1,020	49.72
増減額 (B-A)	1,150	350	480	170	
増減率 (%)	3.8	29.2	38.4	20.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	24,870	△211	△101	△232	△11.28

(4) 配当予想の修正

当社は、2022年1月26日開催の取締役会において、1株当たり配当予想について修正することといたしました。

修正の理由といたしましては、2021年12月24日に公表した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」でお知らせしたとおり、当社は資本コストを意識した経営を更に進めていくことにいたしました。具体的には、有利子負債の活用と株主還元の強化を図ることで、BS（貸借対照表）の再構築を検討していくものです。今回の配当予想の修正は、当該財務戦略を実践するものです。

<2021年12月24日公表の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」>

<https://www.toyo-mm.co.jp/wp-content/themes/toyomm/pdf/fia/prime20211224-1.pdf>

修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想		7.50	15.00
今回予想		17.50	25.00
当期実績 2022年3月期	7.50		
前期実績 2021年3月期	0.00	5.00	5.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,183	6,793
受取手形及び売掛金	4,680	4,373
電子記録債権	1,109	1,892
商品及び製品	2,342	3,206
仕掛品	2,544	2,895
原材料及び貯蔵品	455	814
その他	1,202	1,533
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	19,511	21,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,153	4,042
機械装置及び運搬具（純額）	1,829	1,619
工具、器具及び備品（純額）	124	97
土地	780	780
リース資産（純額）	1	12
建設仮勘定	2	0
有形固定資産合計	6,893	6,552
無形固定資産	602	531
投資その他の資産		
投資有価証券	970	971
繰延税金資産	553	337
その他	42	46
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	1,566	1,354
固定資産合計	9,061	8,438
資産合計	28,573	29,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,734	4,104
電子記録債務	952	1,229
短期借入金	—	500
1年内返済予定の長期借入金	300	200
未払費用	614	451
未払法人税等	135	131
未払消費税等	11	31
製品保証引当金	57	62
役員賞与引当金	—	10
役員株式給付引当金	—	2
その他	1,572	1,347
流動負債合計	7,378	8,070
固定負債		
長期借入金	660	500
退職給付に係る負債	2,368	2,249
その他	7	16
固定負債合計	3,036	2,766
負債合計	10,414	10,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,382	2,385
利益剰余金	12,933	13,584
自己株式	△40	△36
株主資本合計	17,782	18,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	122
繰延ヘッジ損益	△11	△0
為替換算調整勘定	4	246
退職給付に係る調整累計額	1	7
その他の包括利益累計額合計	89	375
非支配株主持分	285	289
純資産合計	18,158	19,104
負債純資産合計	28,573	29,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	16,736	24,074
売上原価	13,905	18,794
売上総利益	2,831	5,279
販売費及び一般管理費	3,272	3,938
営業利益又は営業損失(△)	△440	1,341
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	21
固定資産賃貸料	50	50
助成金収入	50	0
為替差益	21	84
その他	31	14
営業外収益合計	176	171
営業外費用		
支払利息	6	4
支払手数料	1	1
固定資産賃貸費用	6	6
棚卸資産廃棄損	3	—
持分法による投資損失	78	20
その他	2	4
営業外費用合計	99	37
経常利益又は経常損失(△)	△363	1,475
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△363	1,475
法人税、住民税及び事業税	162	356
法人税等還付税額	△23	—
法人税等調整額	△114	196
法人税等合計	24	553
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△387	921
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	14
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△395	907

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△387	921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	26
繰延ヘッジ損益	0	10
為替換算調整勘定	△73	219
退職給付に係る調整額	8	5
持分法適用会社に対する持分相当額	5	12
その他の包括利益合計	△25	274
四半期包括利益	△413	1,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△396	1,192
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社でありましたPT TOYO MACHINERY AND METAL INDONESIAは重要性が増したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。